

令和5年度

事業所名 カンガルー療育支援室 横浜東部ステーション

公表: 令和 6 年 3 月 19 日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			・スペースは十分にある整理整頓をして、利用しやすい環境を作っている	継続
	② 職員の配置数は適切であるか	2	1		・適切である。	継続 来年度は児童指導員が増える予定
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3			・入口がスロープになっているので車いすでも入りやすい。 ・遊ぶスペース、食事のスペース等に分けている	継続
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3			・毎日清掃を行い、マットや玩具等は次亜塩素酸で拭いて消毒している。 ・アルコール消毒を適当な場所に置いている	継続
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	1		・振り返りは行い、業務改善を行っている。	今後も、適宜職員会議を行い業務改善に動めたい
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			・今回初めて評価表を配って意見をいただいた。	意見をもらったものに関しては、回答していき、業務改善を行っていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2		1	・今回が初めてなので今後実施できるとよい ・ホームページで公開予定	ホームページで公開予定
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			3	・今回が初めてなので今後実施できるとよい	検討したい
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1		・虐待、感染、拘束等の研修のほかに、リハビリについての研修も行った	今後は外部研修等の参加を検討している。 ・摂食について ・ムーブメントについてなど
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3			・ムーブメントプログラムを使ってアセスメントしている。	継続
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3			・上記のムーブメントプログラムのアセスメントツールを使用している。	継続
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	2		・ガイドラインを今一度見直し支援内容を考えて行きたい。	もう一度ガイドラインを確認をして支援内容を検討していく
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3			・活動の中に積極的に取り入れるように今後もしていく	継続
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	2		・月案を立てたらみんなに見てもらい意見をもらうようにしていく	個別支援計画をベースに月案をたててそれぞれの立場で意見を言ってもらいそれぞれのこどもにとってよりよいプログラムを立案していく

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3			・季節の活動をなるべく取り入れていく ・月ごとの計画を立てている	新しいイベントや活動内容を取り入れていく
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	1	1	1	・今後、個別と集団をしっかりと分けて活動したい	集団活動はやっていたが計画はほぼ個別活動になっているので、今後は組み合わせを立てていく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3			・朝のミーティングで活動確認を行っている、続けていく。	継続
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	1		・振り返りを行い、問題点等をあげて、改善策を立てている。	継続
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3			・個別に記録を取って振り返りを行っている。	記録の方法など、統一して記録できるように指導し、今後の支援の検証、改善につなげていきたい。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3			・子どもの状態が変わった時などにはモニタリングを行っている。	継続
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3			・児発管(管理者)が参加している。	相談内容は記録して他の職員とも情報共有している。
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2		1	・相談支援員との話し合いや連携を取っている。	継続
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1		・医療的ケアや重心だからと言って連携が必要だとは思わず、その子どもの状況に応じて必要な場合は連携が必要だと考える。	継続
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3			・診療情報提供書や指示書をいただき、連携を取っている。 ・主治医が良いと言えば直接連絡も可能	継続
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1		2	・保育園や小学校との関わりで伸びるお子様もいると思う ・今までは対象のお子様はいなかった。	今後、保育園等に移行するお子様がいたら情報共有をやっていく
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1		2	・保育園や小学校との関わりで伸びるお子様もいると思う ・今までは対象のお子様はいなかった。	今後、小学生になるお子様がいたら情報共有を行っていく
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			・保育園や小学校との関わりで伸びるお子様もいると思う ・療育センターとは連携している。	継続
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			3	・今年度は機会がなかった。	今後検討していく
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3			・関係機関連絡会と医ケア児・重心児連絡会に参加した。	継続
㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			・なるべく保護者がやってほしいこと、伸ばしてほしいことを聞いていくようにしている。	継続
㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		2	1	・家族支援プログラムはやっていない。	ペアレント・トレーニングが重心の保護者にも適当かどうかの検証が必要

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			・丁寧に説明している。	継続
	㉑	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			・同意を得ている。	継続
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	2		・相談に適切に応じている	継続
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			3	・活動を見に来てもらう機会を増やしたら良いと思う。 ・今年度は運動会の際に保護者にも参加してもらった。	まずは、イベント等で参加をしてもらいながら保護者交流をやってきたい。
	㉔	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3			・個別に対応して、相談や申し入れに対してはできることはすぐ行っている。	継続
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3			・月に1回お便りを発行して活動内容を伝えている	継続
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3			・十分注意している	継続
	㉗	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			・コミュニケーション方法は子どもによっても違うのでそれぞれの方法で行い配慮している。 ・保護者には電話、ライン直接話す等で配慮している。	継続
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		2	・行っていないかった。	今後検討していく
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2		1	・周知と訓練はすぐに実施したい	マニュアルは作成しているが保護者には周知と訓練は実施していく
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			・2か月に1回行い保護者にお便りで伝えている。	継続
	㉛	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3			・全員確認をして、対応している。	継続
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	3			・対応している。	継続
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			・共有して繰り返さないように対策を考えている。	継続
	㉞	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3			・年2回の研修を行った。	継続
	㉟	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3			・行っている。 ・必要になる可能性がある児童の保護者には十分説明して同意を得ている。	継続

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。